

つういん しせつ
通院されている施設

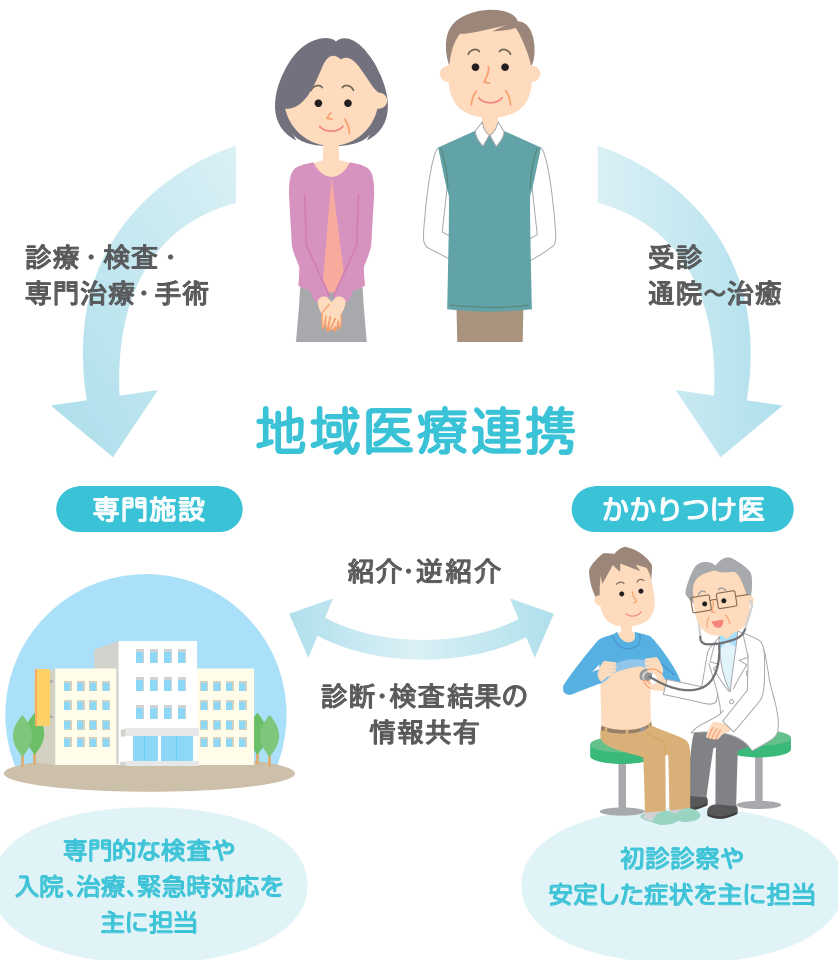
れんけいしせつ
連携施設

くわ けんさ ちりょうほうほう けんとう しょうかい
(より詳しい検査や、治療方法の検討のためにご紹介することがあります)

てんかん診療連携リーフレット vol.4

発作が減らないときは

監修：自治医科大学附属病院脳神経外科 教授 川合謙介 先生



ほっさ 発作がなくなる、減らないときは

こう 抗てんかん薬による治療によって、60%くらいの方がかた
ほっさ 発作をなくすことができるといわれています。

ですが、こう 抗てんかん薬の効果がでる早さはさまざまです。
こうか で ばあい いし そうだん
すぐに効果が出ない場合もありますので、医師とよく相談を
かて くり りよう ふ へ
しながら、勝手に薬の量を増やしたり減らしたりすること
なく、きちんと飲み続けることを心がけましょう。

こう 抗てんかん薬を1～2種類変えたり、いっしょ の
かいすう へ
の回数が減らないようなときは、

せんもん びょういん けんさ う
専門の病院で検査を受けることも

かんが 考えましょう。薬が効きにくくても、

しゅじゅつ 手術をすることで発作を抑えられる

タイプのてんかんもありますので、

あきらめずにせんもん びょういん いし
専門の病院で医師と

よく相談しましょう。



ほっさ と もしも発作が止まらないときは

こう 抗てんかん薬を飲み忘れてしまったときや、きちんと飲み続け
ているときであっても、ほっさ お
発作が起こることがあるかもしれません。

ほとんどの場合、発作は3～5分以内にはおさまりますが、もしも
ほっさ なが つづ
発作がそれよりも長く続くときは「てんかん重積状態」といって、
ほっさ れんぞく お じょうたい
発作が連続して起こってしまっている状態になっている可能性
があります。

けいれんする発作が長く続くときや、いつもの発作と様子が
ちが 違うようなとき、ほんやりとした状態が長く続くようなときは、

きゅうきゅうしゃ よ びょういん ほっさ と ひつよう
救急車を呼んで、病院で発作を止めてもらう必要があります。

